

市制移行「滝沢市」を可決



滝沢村議会は、12月14日において、滝沢村を滝沢市とすることについて全会一致で可決しました。採決の結果が出た瞬間、傍聴者約40人から、拍手が沸き起こりました。

平成23年3月11日に開催された滝沢村行政体制調査研究会において、人口5万人の自治体に適した行政体制は「市」であるという結論が出て以来、市制度調査特別委員会を設置して、市制移行について十分に議論してきました。

その結果、「市制移行が滝沢の進むべき方向であるとの考えに至った」と報告しました。

議会としても滝沢市誕生に向けて、住民、行政、議会が手を携え、皆さまと協力しながら、今後も努力してまいります。

滝沢市に期待する傍聴者の声

市になるのを機に芸術・文化面にもっと力をいれてほしいと思います。隣の栗石では人口規模が小さい割りに芸術大学の発表会など多くの催しものが企画され、村内からも相当の方々が足をばこんでいます。現在は物足りなさを感じていますので是非、芸術文化の振興を期待します。

(大越 勲さん)

初めての議会傍聴であり記念すべき市制への議案可決をみることでできました。肅々と進む議案審議に少し物足りなさを感じました。日本一の村から市になります施設等の建設は極力抑え、福祉の充実をはかり住みよいまちづくりをめざしてほしいと思います。

(伊藤 秋彦さん)



年頭のあいさつ

謹んで新春のごあいさつを申し上げます。

議会は村民から負託を受けた代表として常に村民の立場に立ち、村民の生活向上のために使命と責任を果たさなければならぬと考えております。

さて、滝沢村議会では、市制度調査特別委員会を設置し、市制移行について十分に議論してまいりました。その報告を受け、昨年12月定例会におきまして、「滝沢村を滝沢市とすることについて」を全会一致で可決いたしました。

滝沢村は、これまで120余年の歴史を刻んでまいりましたが、来年1月1日滝沢市になります。先達が築き上げてきた村の良さを残しつつも、未来へ向かって新たなステージを引き継いで行かなければなりません。

これからも、住民に開かれた議会を目指し、村民目線で改革、活性化を図ってまいります。そのためにも、議員同士でさまざまな角度から

滝沢村議会議長 山谷 仁

意見を出し合い、課題や論点を議論し、よりよい合意形成を図れる活発な議会を築いてまいりたいと考えております。

具体的には、これまで行ってきた住民との懇談会、議会報告会、新成人議会、インターネットライブ中継など種々な改革に継続的に取り組みながらも、議会としてさまざまな経験等を踏まえ、また他市町村の先進事例等も参考にしながらさらなる民主的な議会改革に取り組む必要があると考えており、現在、議会基本条例を制定する作業に重点的に取り組んでおります。

また、来月2月11日の祝日には、4回目となります新成人議会を開催いたします。この機会にぜひ足を運んでいただければと存じます。

皆様におかれましても、平成25年が実り多い年となりますよう心から祈念申し上げ、新年のご挨拶いたします。

平成25年1月1日